

茨城県北東部地域の哺乳類

茨城動物研究会

はじめに

茨城県北東部地域には阿武隈山地の南端部にあたる多賀山地があり、東端の海岸線から標高 800 m を越える北西部の山地まで変化に富んだ地形となっているため、多くの哺乳類が生息していると考えられる。また、市街地の近くまで山地がせまり、山間部に生活する住民も多いところから、哺乳類と何らかの関わりを持ってきた人たちも多く存在する。しかし、哺乳類の多くは夜行性で、その行動を野外で観察する機会は少なく、近年における自然環境や野生生物に対する関心の高まりの中にあっても、哺乳類相に関する調査報告は数少ないものとなっている。

今回の調査では、24 種の哺乳類の生息について何らかの情報を得た。

生息情報調査

1. 調査期間および地域

調査期間は 2000 年 6 月から 2003 年 2 月で、県北東部地域全域を調査対象とした。

主な調査地は、北茨城市小川、北茨城市花園、高萩市下君田、高萩市横川、高萩市大能、高萩市秋山、高萩市赤浜、十王町高原、十王町黒坂、日立市入四間、

日立市高鈴山周辺、日立市大久保、常陸太田市町屋、常陸太田市里野宮、常陸太田市小目、里美村里美牧場周辺、里美村天竜院、里美村上深荻。

また、国道 6 号線の、北茨城市中郷町～高萩市～十王町～日立市街の 20 km の区間では、休日を除くほぼ毎日、交通事故にあった野生哺乳類を記録した。

2. 調査方法

(1) 文献調査

県北東部地域の哺乳類に関する情報の文献収集を試みた。

(2) 現地踏査

生体の目撃、死体及び生活痕跡（糞、足跡、巣、食痕など）の発見につとめた。

(3) トラップ調査

食虫類、ネズミ類など、確認の難しい小型哺乳類を捕獲するため、トラップによる調査も行った。

捕獲にはライブ・トラップ（かごワナ）を用い、誘因餌には、さつま揚げ・ピーナッツを使用した。設置直後は小型哺乳類がトラップを忌避する可能性があるため、トラップは日中に設置し、翌朝巡回して捕獲状況を確認した後、もう一晚放置してから全てのトラッ

表 1. 県北東部地域で生息情報が得られた哺乳類リスト。

| 目 | 科 | 和名 | 学名 | 確認方法 | | | |
|------|------------|-----------|----------------------------------|---------------------------------|------------------------|------------|--------------|
| | | | | 文 献 | 聞き取り | 踏査 | |
| 食虫目 | トガリネズミ科 | ジネズミ | <i>Crocidura dsinezumi</i> | ○ | | 死体 | |
| | モグラ科 | ヒミズ | <i>Urotrichus talpoides</i> | ○ | | 死体、坑道 | |
| 翼手目 | アズマモグラ | アズマモグラ | <i>Mogera imaizumii</i> | ○ | ○ | 塚 | |
| | キクガシラコウモリ科 | キクガシラコウモリ | <i>Rhinolophus ferrumequinum</i> | ○ | | 目撃 | |
| 霊長目 | ヒナコウモリ科 | アブラコウモリ | <i>Pipistrellus abramus</i> | ○ | ○ | 死体、目撃、糞 | |
| | オナガザル科 | ニホンザル | <i>Macaca fuscata</i> | ○ | ○ | | |
| ウサギ目 | ウサギ科 | ノウサギ | <i>Lepus brachyurus</i> | ○ | ○ | 死体、糞、足跡、食痕 | |
| 齧歯目 | リス科 | ニホンリス | <i>Sciurus lis</i> | ○ | ○ | 目撃 | |
| | | ムササビ | <i>Petaurista leucogenys</i> | ○ | ○ | | |
| | | ヤマネ科 | ヤマネ | <i>Glirulus japonicus</i> | ○ | ○ | |
| | ネズミ科 | ハタネズミ | ハタネズミ | <i>Microtus montebelli</i> | ○ | | |
| | | カヤネズミ | カヤネズミ | <i>Micromys minutus</i> | ○ | | |
| | | ヒメネズミ | ヒメネズミ | <i>Apodemus argenteus</i> | ○ | | 食痕 |
| | | アカネズミ | アカネズミ | <i>Apodemus speciosus</i> | ○ | | トラップ |
| | | ドブネズミ | ドブネズミ | <i>Rattus norvegicus</i> | ○ | ○ | トラップ、死体、目撃 |
| | | クマネズミ | クマネズミ | <i>Rattus rattus</i> | ○ | | |
| | | ハツカネズミ | ハツカネズミ | <i>Mus musculus</i> | ○ | ○ | トラップ、死体、糞、食痕 |
| | 食肉目 | イヌ科 | キツネ | <i>Vulpes vulpes</i> | ○ | ○ | 死体 |
| | | | タヌキ | <i>Nyctereutes procyonoides</i> | ○ | ○ | 死体 |
| | | | イタチ科 | テン | <i>Martes melampus</i> | ○ | ○ |
| イタチ | | イタチ | <i>Mustela itatsi</i> | ○ | ○ | 死体 | |
| アナグマ | | アナグマ | <i>Meles meles</i> | ○ | ○ | | |
| 偶蹄目 | ジャコウネコ科 | ハクビシン | <i>Paguma larvata</i> | ○ | ○ | 死体 | |
| | イノシシ科 | イノシシ | <i>Sus scrofa</i> | ○ | ○ | | |

プを回収した。

(4) 聞き取り調査

調査地域住民に対して、哺乳類の目撃経験、狩猟経験、農作物への被害状況などの確認をした。

3. 結果

各調査結果を総合して、県北東部地域に生息することが確認された哺乳類のリストは表1の通りである。

それぞれの調査法ごとでの種の確認状況を以下に示す。

(1) 文献調査

哺乳類相に関する調査報告は他の動物に比べると非常に少ないが、「高萩の動物」(高萩市, 1991)の中で、江幡と石川は、1988年6月～1990年3月の調査で、高萩市に生息する哺乳類を22種記録し、生息地及び生態について詳しい解説を行っている。また、やや古い記録としては、「茨城の生物(第1集)」(茨城県高教研生物部, 1975)の中で、川上が「県北の哺乳類」という文章を書いている。

(2) 現地踏査

哺乳類を直接目撃する機会は少ないが、本調査中に、市街地の民家の庭に現れたハクビシン(図1)や、洞窟内で越冬中のキクガシラコウモリ(図2)を観察することができた。糞、足跡、食痕などの生活痕跡はノウサギのものが多く発見された(図3, 4)。道路上で交通事故にあった哺乳類の死体も数多く発見された。交通事故に関する記録は聞き取り情報によるものを合わせて表2に示す。交通事故による死体はハクビシンとタヌキが特に多く、春から秋にかけてはハクビシンが、秋から冬にかけてはタヌキの事故が多い傾向が見られた。

(3) トラップ調査

今回の調査ではアカネズミが多く捕獲された。



図1 ハクビシン。



図2 キクガシラコウモリ。



図3 ノウサギの足跡。



図4 ノウサギの糞。

(4) 聞き取り調査

多数の調査対象地域住民から情報を得ることができた。特に狩猟者からは多くの情報が提供された。

表2. 交通事故による礫死体の記録.

| | | |
|------------|-----------|-------|
| 2000/6/17 | 日立市川尻町 | ハクビシン |
| 2000/8/21 | 常陸太田市町屋町 | ハクビシン |
| 2000/10/7 | 北茨城市中郷町 | イタチ |
| 2000/10/16 | 高萩市高浜町 | ハクビシン |
| 2000/10/20 | 高萩市赤浜 | タヌキ |
| 2000/10/23 | 高萩市高浜町 | タヌキ |
| 2000/11/7 | 高萩市秋山 | キツネ |
| 2000/11/10 | 常陸太田市里野宮町 | タヌキ |
| 2000/12/12 | 十王町伊師 | タヌキ |
| 2000/12/20 | 常陸太田市小目町 | タヌキ |
| 2001/1/30 | 日立市本宮町 | タヌキ |
| 2001/3/8 | 十王町伊師 | タヌキ |
| 2001/3/12 | 北茨城市中郷町 | タヌキ |
| 2001/4/24 | 常陸太田市里野宮町 | ハクビシン |
| 2001/5/14 | 常陸太田市西宮町 | ハクビシン |
| 2001/6/5 | 日立市茂宮町 | ハクビシン |
| 2001/6/17 | 常陸太田市里野宮町 | ハクビシン |
| 2001/6/24 | 常陸太田市西宮町 | ハクビシン |
| 2001/9/2 | 常陸太田市町屋町 | タヌキ |
| 2001/9/18 | 高萩市高戸 | タヌキ |
| 2001/10/4 | 常陸太田市西宮町 | タヌキ |
| 2001/10/27 | 常陸太田市小沢町 | タヌキ |
| 2001/11/21 | 北茨城市中郷町 | ハクビシン |
| 2001/12/1 | 日立市日高町 | タヌキ |
| 2002/1/15 | 高萩市赤浜 | タヌキ |
| 2002/1/17 | 高萩市赤浜 | ハクビシン |
| 2002/2/13 | 日立市若葉町 | ハクビシン |
| 2002/4/1 | 日立市相田町 | ドブネズミ |
| 2002/7/9 | 日立市石名坂町 | ノウサギ |
| 2002/7/30 | 常陸太田市町屋町 | ハクビシン |
| 2002/8/4 | 日立市本宮町 | ハクビシン |
| 2002/9/18 | 常陸太田市町屋町 | タヌキ |
| 2002/10/6 | 常陸太田市町屋町 | タヌキ |
| 2002/10/9 | 北茨城市中郷町 | イタチ |
| 2002/10/22 | 北茨城市中郷町 | タヌキ |
| 2002/11/15 | 日立市滑川町 | タヌキ |
| 2002/11/17 | 北茨城市中郷町 | イタチ |
| 2003/1/8 | 日立市砂沢町 | ハクビシン |
| 2003/1/10 | 日立市砂沢町 | ハクビシン |

4. 生息確認種の概況

(1) ジネズミ

高萩市では海岸林から 650 m 以上の山地帯まで各地で確認されたとの記録がある。本調査では、北茨城市中郷町の農耕地周辺の草やぶで、1 個体の死体を採集した。

(2) ヒミズ

雑木林の落葉の下に溝状の坑道が観察された。ネコが捕まえたりするので、人家の庭先に死体が落ちていることもある。夜間は地表でも活動するため、高萩市でネズミに混じってトラップで捕獲された記録がある。本調査では、日立市と里美村で、それぞれ 1 個体ずつ死体を採集した。

(3) アズマモグラ

人家の周辺や農耕地、低地の草原から山地の森林まで広く分布する。「モグラ塚」が調査対象地域全域で普通に見られる。

(4) キクガシラコウモリ

洞窟を隠れ家とし、夜間活動するため、アブラコウモリのように目撃されない。高萩市大金田に生息確認の記録がある。本調査では、日立市の「大久保の風穴」で、1 個体の生息を確認した。

(5) アブラコウモリ

野生哺乳類としては、唯一、日常ごく普通に観察されるのが本種。家屋の屋根裏などにすみ、人のいない山間部などには生息しない。夕方の明るいうちから活動を始め、昆虫類を補食しながらヒラヒラと飛翔する姿は都市部などでも容易に観察される。夜間は決まった場所で仮の休息をとり、日の出前に隠れ家に戻る。このため、仮の休息場所として常に利用される軒下などでは、その下の地面に糞尿が落ちるため、その場所と知ることができる。学校などの建物内に入り込んで衰弱した個体が見つかることもたびたびある。本調査では、1 個体の死体を採集した (図 5)。



図5 アブラコウモリ。

(6) ニホンザル

本県にはニホンザルの個体群は生息しないが、「ハナレザル」とか「ヒトリザル」と呼ばれる単独で生活する個体が生息地域より移動してくることがあるらしい。高萩市、日立市、常陸太田市、里美村の各地で、「サルを見た」「柿の実や畑のトウモロコシを食べていた」「畑を荒らすのでワナをかけたがサルがかかったが逃げってしまった」などの聞き取り情報を得た。本調査期間中も、高萩市高戸の海岸でサルが目撃・撮影されたとの新聞報道があった (図 6)。



図6 ニホンザル。

(7) ノウサギ

低地から山地まで広範囲に分布すると考えられる。生息地では、特徴的な糞や、食痕などの生活痕跡が見られ、積雪後には、やはり特徴のある足跡が観察される。高萩市では海岸林から 650 m 以上の山地帯まで各地で記録がある。本調査では、北茨城市、高萩市、里美村などで生活痕跡を記録した。また、日立市で交通事故による死体を採集した。

(8) ニホンリス

主に樹上で活動することから「キネズミ」と呼ばれることが多い。低山帯のアカマツ林などに多く、昼行性のため目撃の情報も多いが、近年減少の傾向にあるともいわれる。

(9) ムササビ

地元住民には「バンドリ」とも呼ばれる。大木の樹洞に巣を作ることから、社寺林などでの生息情報が聞き取りによって得られた。

(10) ヤマネ

山地帯から亜高山帯の森林に生息する。小型の夜行性で主に樹上で生活することから発見は難しく、記録は少ない。高萩市、里美村で記録がある。本調査では、里美村天竜院で目撃したとの聞き取り情報を得た。

(11) ハタネズミ

今回は文献での確認のみとなった。高萩市では海岸林から 650 m 以上の山地帯まで各地で記録がある。

(12) カヤネズミ

今回は文献での確認のみとなった。低地の河川敷など、イネ科植物が密生する湿地に多く生息する種であるが、高萩市では山地帯で記録がある。

(13) ヒメネズミ

文献では高萩市の山地で記録がある。本調査では、

北茨城市のアカマツ林で、アカマツの球果をかじってできた、いわゆる「エビフライ」状の食痕を多数見つけた(図7)。エビフライ状の食痕はリスの仲間のものが有名だが、リスの仲間が食べた場合はバリカンで刈り込んだようにきれいに削り取られるので、本種の食痕ではないかと思われる。

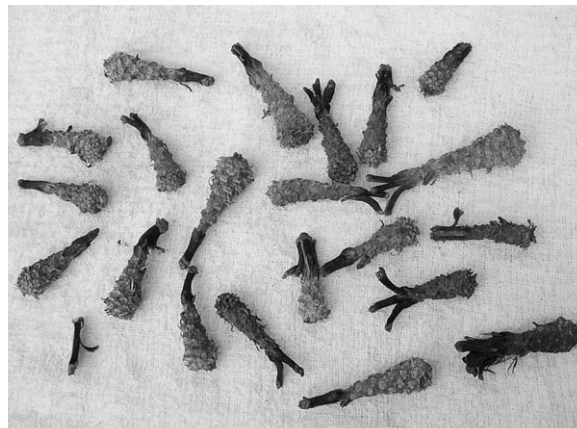


図7 アカマツ球果の食痕。

(14) アカネズミ

低地から山地の広い範囲の森林に分布する。野ネズミの中では最も多く生息し、各地に普通。本調査でも、人家周辺の雑木林などで複数の個体がトラップにより捕獲された(図8)。



図8 アカネズミ。

(15) ドブネズミ

下水、ゴミ捨て場などの、都市の人為的環境にうまく適応して人間生活に密着し、およそ何でも食べる。石鮓をかじった痕跡があったため、石鮓を誘因餌としてトラップを設置したら捕獲されたほどである。各地で普通に目撃される。本調査では、日立市で2個体を採集した。

(16) クマネズミ

人為的環境に適応して人間生活に密着する種だが、今回は文献での確認のみとなった。高萩市の海岸付近で記録がある。

(17) ハツカネズミ

家屋、農耕地、草地などの広い範囲に生息すると考えられる。本調査では、北茨城市と日立市で、それぞれ1個体ずつを採集した。

(18) キツネ

山地を中心に広く生息すると考えられるが、タヌキよりは人目に触れることが少ない。本調査では高萩市で1個体の磔死体を採集した。

(19) タヌキ

平地の住宅地周辺から山地まで広く生息する。車道での交通事故が多く、本調査では、聞き取り情報も含めて18個体の磔死体を確認し、うち4個体を採集した(図9)。



図9 タヌキ。

(20) テン

山地の森林に生息するが数は多くない。高萩市で記録がある。本調査では、日立市、里美村に生息するとの聞き取り情報を得た。

(21) イタチ

平地から低山帯の、近くに水田がある山ぞいや、川の近くに生息する。人里でよく見かけられる。本調査では、北茨城市で3個体の磔死体を確認し、うち2個体を採集した。

(22) アナグマ

タヌキと混同されることもあるが、地元住民は「ムジナ」「ササグマ」などと呼んで区別している。山地

帯下部から丘陵部の森林に生息するが数は多くない。本調査では、常陸太田市、里美村に生息するとの聞き取り情報を得た。

(23) ハクビシン

本県において初めて発見されたのは1963年だが、その後急速に分布を拡げてきた。現在では、山地帯下部から海岸近くの平地まで広く分布し、生息数も多いと思われる。市街地にも出現することが多い。タヌキ同様に車道での交通事故が多く、本調査では、聞き取り情報も含めて15個体の磔死体を確認し、うち5個体を採集した(図10)。



図10 ハクビシン。

(24) イノシシ

県北東部地域ほぼ全域の山地に生息する。狩猟シーズンになると、毎年数十頭のイノシシが調査地域内で捕獲される。

引用文献

- 江幡 栄・石川賢一. 1991. 哺乳類. 高萩の動物. pp. 19-36. 高萩市.
川上千尋. 1975. 県北の哺乳類. 茨城の生物. pp. 170. 茨城県高教研生物部.
山崎晃司. 1998. 筑波山の哺乳類. 茨城県自然博物館 第1次総合調査報告書. pp. 207-211. ミュージアムパーク茨城県自然博物館.
自然環境研究センター(編). 1994. 日本の哺乳類. 195 pp. 東海大学出版会, 東京.

調査研究および執筆

蛭日清孝

